

「都立高校教育支援コーディネーター」

第3回目は、都立淵江高等学校で、教育支援コーディネーターとして活躍されている、特定非営利活動法人「育て上げ」ネットの松野賢太郎さん、島原富士江さん、岡本名津子さん、長瀬晃さん及び奥田澄子さんの取組を御紹介します。

都立淵江高等学校では、「命を蒔き、命を育てる」をテーマとし、3年次「奉仕」の授業を行っています。

特定非営利活動法人「育て上げ」ネットは、9月から10月にかけて、人として社会貢献できる力を養うために、「コミュニケーション」、「自己理解」及び「将来設計」をテーマとし、授業を行いました。



左から、特定非営利活動法人「育て上げ」ネットの奥田澄子さん、島原富士江さん、松野賢太郎さん、岡本名津子さん、長瀬晃さん

今回、御紹介するのは、「将来設計」の授業です。

【「将来設計」を考えるきっかけとしたい】

この日の授業では、生徒自身に、将来の自立した生活を思い描く「きっかけ」となるような事項について、考えてもらうことを目標としました。

まずは、お金のことや、「働くこと」と「自分の時間」について考えました。

次に、「社会人」になる際に、知っておかなければならないことを学びました。

授業を受けた生徒からは、「このような授業は、もっと早く受けたかった。」というような感想も出ました。

卒業が間近な3年次の生徒にとっては、より現実味を持って考えさせられる授業となったようです。



■「将来設計」を考える際、「働くこと」と「自分の時間」の両立が必要となります。

ワークシートを使いながら、正社員とフリーターのメリット、デメリットや給料の違いを考えました。

お金の価値について、一万円札を使ったパフォーマンスを交えながら、普段は何気なく使っている「お金」について、「稼ぐ」、「使う」、「貯める」の3つの視点から考えました。

将来、自立した生活を送るためには、この3つのバランスが大切となります。生徒たちの「明日」にすぐ直結する話ではありませんが、身近な将来を考える際に、意識してもらいたい事項です。

■社会人としてのマナーを学びましょう。

新入社員であっても、「知らなかった…」では済まされない話を、マナードリルを使って学びました。

会社は、会長、社長から新入社員までと、役職があります。役職が上になればなる程、責任が重くなり、給料も上がります。

会社では、役職の序列が重要です。この序列を知っていれば、皆さんが上司から、皆さんの行動や言葉遣いで怒られることも少なくなります。

会社の役職を学ぶことで、会社のルールの一つを垣間見てもらいました。



■お金は、生活環境に応じ、考えて使いましょう。

ワークシートとシミュレーションカードを使いながら、自分の経済力に見合った生活とは何か、お金の賢い使い方とは何かについて、学びました。



グループごとに、パソコン、スーツ、自動車、マイホーム等の商品が、生徒にとって、「必要なもの」なのか、「あった方がいいもの」なのかを話し合います。各々の価値観によって、差が出てきました。

進学、結婚や出産等によって、生活環境は変化します。生活環境が変化することで、先ほど「必要なもの」と考えていた商品が「あった方がいいもの」に変わったり、「あった方がいいもの」と考えていた商品が「必要なもの」に変わったりするのを知りました。

お金を賢く使うには、

- ① 商品が、「必要なもの」なのか、「あった方がいいもの」なのか、優先順位をつけて考えること。
- ② 必要な商品であるかを、他の商品と比較し、きちんと自分で判断すること。

が必要となることを学びました。

○担当された 松野 賢太郎さんにお話を伺いました。

○ 毎回、学校に求めに応じた適時適切な授業プランを提案しています。各々の学校が求めていることを、十分に理解した上で、授業の支援を行っています。

「奉仕」の授業をどのように支援するかは、担当の先生方と、何度も打合せを行いました。授業案を丁寧に作成したことが、先生方との共通の理解に役立ちました。

また、各々の学校の特徴を十分に理解し、その特徴に応じた講師に授業を担当させることを留意しています。

○ 今の高校生は、多くの多種多様な情報の中から、職種を選ばなければなりません。職種は、3万種にのぼると言われています。「やりたい職種」を選びなさいと言われても、困ってしまう状況です。

自分自身の現実的な生活設計の条件に合わせて、取捨選択できるようなやり方で、職種を選んでいってもらえればとも考えました。

○ 今日のような授業が、「将来設計」を考える、いいきっかけになってもらえれば、うれしいですね。

○担当された 市川 正弘 主幹にお話を伺いました。

○ 都立淵江高等学校は、奉仕必修化実践・研究校（パイロットスクール）として、ボランティア活動をもとにした奉仕の体験活動は実践していたのですが、いざ3年次の生徒全員に授業を行うとなると、具体的な計画とコーディネーターが不足していたというのが実情です。

奉仕の体験活動を行うにしても、奉仕を行う生徒自身が自らの生き方と在り方を考えられる「大人」でないと目標を達成できません。「大人」力を鍛えるという意味で、「育て上げ」ネットに依頼しました。

○ 私は普段の授業で生徒と接していますが、今回、教科「奉仕」の授業者として生徒の前に立つにはやや違和感がありました。それは、私自身が日頃大したボランティア活動をしていなかったからかもしれません。

そのようなとき、何人かの生涯学習部の担当者から、「奉仕」のねらいや社会貢献活動について、丁寧な説明を受け、大いに勇気付けられました。そこから、都立淵江高等学校における「奉仕」の具体的なカリキュラム作りが始まりました。

○ 「奉仕」という授業をもっと学校の特徴を生かしたものとして、生徒にとって役に立つ、また地域にとって役に立つ教材にするために、コーディネーターの方々とネットワークを広げたいと思います。

【連絡先】特定非営利活動法人「育て上げ」ネット

〒190-0011 東京都立川市高松町二丁目9番22号 生活館ビル3階

電話:042-527-6051 ファクシミリ:042-548-1368

URL:<http://www.sodateage.net/>